

がん哲学外来 いばらきチャウチャウ友の会通信

創刊号

2019年5月18日発行

◆ 「いばらきチャウチャウ友の会通信」創刊号 「巻頭言」 ◆



いばらきチャウチャウ友の会「顧問」／

新渡戸稲造記念センター 長／順天堂大学 名誉教授 樋野興夫

この度、茨城の3つのがん哲学外来カフェ：「がん哲学外来さいわいカフェin茨城・筑西」・「古河そうわカフェin茨城」・「がん哲学外来@あがっぺカフェ」による、「いばらきチャウチャウ友の会」が設立される運びとなったとのことである。大いに感激した。歴史的快挙である！

趣旨は、『カフェどおしで、仲良く協力していけたらいいなあとの発想のもと「いばらきチャウチャウ友の会」が活動開始されることになった。』とのことである。

「がん哲学外来さいわいカフェin茨城・筑西」代表／「いばらきチャウチャウ友の会通信」編集長の「速効性と英断と実行力」・「冗談を実現する胆力」・「チャウチャウパワー」には、大いに圧倒され感動した。筆者は、「顧問」就任とのことである。私は、2019年3月31日をもって、順天堂大学医学部 病理・腫瘍学講座を『定年退職』迎えた。タイミング的に、「新渡戸稲造センター 長」を仰せつかった。驚きである。人知を超えて、時が進んでいることを痛感する日々である。癌研（2003年）から順天堂大に赴任し、10年以上前であろうか！？朝日新聞の一面の記事に、私のことを、『「変わり者」でなく「変わり種』』と、紹介されたことが最近、何故か鮮明に蘇る。「変わり種」は「からし種」の如くとのことである。まさに、代表は「変わり種」でありましょう！

{新刊『楕円形の心～がん哲学エッセンス～』『種を蒔く人になりなさい』参照}。

『教養ある人間とは「自分のあらゆる行動に普遍性の烙印を押すこと」であり『生活環境や言葉が違って心に通えば友達であり、心を通じ合う人と出会うことが人間の一番の楽しみである。』{新渡戸稲造（1862-1933）}が「いばらきチャウチャウ友の会」のモットーではなからうか。

まさに、「困っている人と、一緒に困ってくれる人」である！

すべての始まりは「人材」である。「はしるべき行程」と「見据える勇氣」、そして世界の動向を見極めつつ、高らかに理念を語る「小国の大人物」出でよ！この度は、「いばらきチャウチャウ友の会」設立、本当におめでとうございます。



●古河そうわカフェ in 茨城のご案内●

●毎月第3木曜日 午後2時～4時
6/20・7/18・8/15

●会場：古河市 総和キリスト教会

●電話&FAX：0280-98-1948

●樋野先生の本

【がんばりすぎない悲しみすぎない】を参考にそれぞれの思いを話しています。小さな集まりですが、地域の方々にたいへん必要な場となっています。



◆がん哲学外来@あがっぺカフェ誕生◆

◆第1回6/15. 第2回7/6. 第3回8/3

◆時間：午後3時～4時30分

◆会場：那珂市 瓜連キリストの教会

◆電話：029-296-1851

◆12月1日（日）オープン記念講演会

【理事長：樋野興夫先生が

うりづら にやってくる！！】

ぜひいらしてください。お待ちしております。



◆さいわいカフェin茨城・筑西◆

◆奇数月第4土曜・偶数月第3日曜：2時～4時
6/16・7/27・8/18

◆会場：筑西市 幸町キリスト教会

◆電話：080-4195-4316

◆【人生いばらの道、されど宴会】

スタッフ一同、個性が引き出され、いばらの道に「変わり種」の「希望の種」を蒔いています。どんな花が咲いて実がなるかどうぞ楽しみに♪



●編集後記●

依頼した巻頭言が届き、ぎょっとしました。代表って？と他人事、でもやっぱり私のこと。不安になり先生にお伝えすると『ほっとけ、気にするな！』との「ビタミンAi」が処方されました。ただ茨城大好き「ひよっこ」なだけなのです。小心者で本を読むと安心し、書くと気持ちが落ち着きます。そしてそれを読んでいただけるとほっとします。今日も読んで下さる方がいてくれてありがとうございます。海老澤規子

